



生徒指導だより

生徒の完全下校時刻 17:00

豊かな心 じょうぶな体 あふれる知性

平成29年2月1日 第9号 土浦市立土浦第六中学校生徒指導部



● 情報機器を正しく扱う能力

ケータイ・スマホをはじめ、ネットにつながる装置を「情報機器」と言います。PCもそうですし、最近はゲーム機もネットにつながるのが当たり前。情報機器やネットが無いと不便さを

感じるほど、私たちの生活に密着しているのが現状です。しかし、正しく使おうとするいわゆる「ネチケット」が身についていないと、どんな事件に発展することも少なくありません…。

家庭での約束を守ろう

「ネチケット」とはネット上のエチケットで、誰が決めるというのものではなく、社会や他者のことを思いやって、自らが気をつける常識です。お互いが見えないネット上のコミュニケーションだけに、必要以上に言葉を選んで用いないと、思わぬ誤解を生むことがあります。

ネットは家庭や学校を介さずに、直接社会と接触する場でもあるので、有害サイトやゲームサイトでの課金制度などによって、大人が気づく前に被害が拡大しやすいという危険性があります。

さらに、LINEは小集団の中での誹謗中傷を生みやすい傾向があり、ささいな言葉がいじめにつながってしまうこともあります。

こうした危険性を考えると、家庭や学校は情報機器を所持すること自体を規制するようになります。

一方で、今後さらに加速していくであろう情報化社会を考えれば、まったく使わせないというのはナンセンスでもあります。生活の一部になりつつあるネット利用の力は、必要になるはずだからです。そこで、重要なのが「情報機器やネットを正しく扱う能力」ということになります。学校では、そのための教育を折に触れ行っています。

家庭でも約束事があるはずです。長時間の利用は心身に悪影響を与えることが分かっている情報機器です。約束は必ず守らなければなりません。

保護者の皆様へ ● 家庭でルールは守られていますか！



情報機器を使用するにあたって心配なことがあります。それは、SNS上、気軽に自分や友人の写真をアップしてしまうことです。

これは「個人情報漏洩」につながる上に、それが全世界に公開されるという点で、取り返しがつきません。中学生は未成年ですから、何か事件に発展すれば、当然のことながら保護者の皆様の責任が問われることになります。

子どもたちは、深く考えることもなく軽い気持ちでやってしまうことですから、日常的な家庭での指導が重要です。

指導するには、家庭でのルール作りが欠かせません。

ルールを作ることは、情報機器を子どもに与えることの最低限の保護者の責任です。文部科学省や警察の資料等を参考に、以下、いくつか紹介します。

■ フィルタリングは必ずつけておくこと。

(Wi-Fi 装置にもフィルタリング)

■ 一日〇時間以上は使わないこと。

■ 夜〇時以降は使わないこと。

■ 学校には持って行かないこと。

■ 怪しいサイトには近づかないこと。

■ 身に覚えのない請求や怪しいメールが来たら、必ず親に相談すること。

無理、押しつけのないルールを親子で話し合い長く確実に守れるように工夫してみてください。